市長定例記者会見報告事項概要

令和6年9月19日(木) 午後1時00分～

1. 防府競輪場内覧会及び竣工式について

- 競輪場については、どうにか竣工して、この22日には竣工式を迎える運びとなった。
- 来月5日には、「防府けいりん こどもまつり」を開催したい。
- 防府名物の餅まきを工夫して行いたいと思っている。
- 新しく生まれ変わった競輪場にお越しいただきたい。

2. 防府駅南北自由通路「みずかぜ広場」の完成式典及び

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の防府初停車について

- 鉄道高架から30年という節目の年に、防府駅南北自由通路「みずかぜ広場」を整備することとし、どうにか完成した。
- 「トワイライトエクスプレス瑞風」の来訪に間に合う形になった。
- このことが、防府駅周辺の活性化に繋がり、街中がますます元気になると思っている。
- 完成式典のあとには、「トワイライトエクスプレス瑞風」が、防府に初めて停車する。
- 当日は、「音楽のまち防府」にふさわしく、市内の高校三校の吹奏楽部の皆様にもご協力をいただき歓迎したい。
- その後は、恒例の餅まきを商工会議所と一緒にやって行きたい。

3. 防府スポーツ協会100周年

記念特別対談「走り抜ける2人の挑戦！」について

- このたびのパリパラリンピックでは、防府ゆかりの道下選手が銅メダルを獲得された。
- 来月6日には、防府スポーツ協会100周年を記念した佐波川ロード記録会を開催することになっている。
- 記録会にも参加されたことがある世界的なランナーの、伊藤国光選手と高岡寿成選手をお招きして、特別対談をしていただく。
- 防府にゆかりのあるお二人であり、しっかり盛り上げていただきたいと思っている。
- 来月20日には、「ほうふスポーツフェスタ2024」を開催する。
- 今年は、スポーツ協会ができて100周年ということで、盛り上げていきたい。

4. 休日診療所での夜間オンライン診療の開始について

- 本市では、10月から、夜間に自宅からでも診療を受けることができる内科のオンライン診療を開始する。
- 軽い腹痛や発熱など、気になる症状がある場合に、スマートフォンなどを使って、ビデオ通話で診療を受けていただき、その後、休日診療所に、薬の受け取りやお支払いに来ていただくもの。
- 診療所での待ち時間が短縮され、また自宅からできるので、体の負担も軽減されると思われる。
- 昨日、医師会の医師の方に集まっていたいただき説明会を行った。

- 夜間の一次救急医療体制を充実させることで、安全安心な一次、二次、三次救急医療体制を構築することができればと思っている。
- 今年度は、木曜日と土曜日の週 2 日、来年度は週 4 日と段階的に拡充し、令和 8 年度には、週 7 日の確実な運用ができるよう努めていきたい。
- 防府医師会をはじめ関係団体と連携し、山口県のモデルとなるよう、医師不足の中で取り組んでいきたいと考えている。
- なお、今月 26 日（木）に、報道関係者を対象とした、オンライン診療のデモンストレーションを市保健センターで行うので、取材に来ていただくようお願いする。

5. 子ども医療費助成制度の拡充について

- 今年度約束していた子ども医療費助成制度の拡充である。
- 10月から中学生、高校生まで医療費を完全無償化としている。
- 既に、保育料については、9月から県と一緒に第2子以降を無償としている。
- また、この10月から国による児童手当も拡充される。
- それにあわせる形で、高校生まで医療費無償化ということで、子育て施策の充実を図っていきたい。
- 今回の拡充の対象となる方は、中学生、高校生あわせて、約 5,700 人となる。
- 同じく 10 月から、3 歳児健診を受診するお子さんへ、絵本のプレゼントを始める。
- 「ほうふっ子応援パッケージ」として、本市が積極的に進めて

いる独自の子育て支援策の1つである。

- また、年明けには「子ども家庭センター」がオープンするので、それに向けて、本市の子育て支援がより充実するよう努めていきたい。